

施策マネジメントシート(2024年度の振り返り、総括)

作成日 2025 年 8 月 1 日

基本目標	Ⅱ	豊かな自然と共生するまち					
施策	11	生活環境の保全	主管課	名称	環境課	関係課	上下水道課 経営係、上下水道係
				課長	木樽 晴彦		
				担当係	環境対策係、奥利根アメニティパーク 廃棄物処理係		
			      				

目的と 基本方針	良好な生活環境の維持
	・下水道事業を健全に運営し、施設の計画的な整備と維持管理を行い、合併処理浄化槽の普及を推進します。 ・不法投棄対策、公害防止対策及び犬猫衛生対策などを推進し、町民が快適に暮らせる良好な生活環境を保持します。 ・ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、ごみの減量化・資源化、適正処理を実施します。

方基本事業の考え	・下水道未接続者や単独処理浄化槽に対し、下水道への接続転換を促すとともに、補助事業を利用した単独処理浄化槽やくみ取り式トイレの利用世帯へ合併処理浄化槽への転換を促進し、汚水処理人口普及率の向上を図る。 ・不法投棄の早期発見に努め、群馬県や警察等との連携や情報共有を図り、土地所有者や不法投棄の恐れのある地域へ注意喚起を促し、パトロール強化や防護柵等の設置を推奨する。 ・犬・猫の適正飼育を進めるため、避妊手術の補助事業を啓発するとともに、群馬県動物愛護センターとの連携を図る。 ・利根沼田ブロックによる広域処理を目指し、それまでの間は適正で安定した処理を継続させる。ごみの減量化・資源化を促進するために、可燃ごみに多く含まれる紙ごみ分別を啓発する。また、分別品目の見直しを行い廃プラごみの分別収集を検討し資源化を目指す。	
------------------------	---	--

	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
基本事業	1 生活排水の適正処理	町民	生活排水が適正に処理される。	単独処理浄化槽やくみ取り式トイレの利用世帯に対し、合併処理浄化槽への転換補助を行います。
	2 良好な住環境の維持	町内の生活環境	良好な住環境が維持される。	群馬県や警察等との連携や情報共有を図り、土地所有者や不法投棄の恐れのある地域へ注意喚起を促し、パトロールの強化や防護柵等の設置を推奨します。
	3 ごみの減量化・資源化の推進	町民	分別を徹底する。	可燃ごみに多く含まれる紙ごみの分別を啓発し、また廃プラごみの資源化を目指します。
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 ・汚水処理人口普及率は令和5年度末時点で、全国(93.3%)や群馬県(85.0%)の平均値と比較すると低い水準になっている。下水道事業は昭和50年代から供用開始しており、老朽化が著しい施設も多く、ストックマネジメント計画により危険箇所の選定や改修、管路の更新を計画している。令和6年度から公営企業会計への移行し決算負担を踏まえて令和7年度に経営戦略の見直しを行う予定。また令和4年度の汚水処理計画見直しを行ったが再度、令和8年度までに公共下水道処理区域から合併処理浄化槽区域への変更を検討する予定。 ・これまで大規模な公害問題は発生していませんが、ごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶ちません。少子高齢化等で管理しづらい土地が増加していることも一因となっています。また、埋め土や盛り土による土壌汚染対策防止法や、土砂等による埋め立て等の規制に関する条例(以下「土砂条例」という)の該当事案が増えています。 ・猫の多頭飼育が問題になっており、本市においても本人や周辺の方からの相談件数が増えています。 ・根沼田ブロックによる広域処理を目指し、固形燃料化施設を令和4年度で停止しました。広域での施設が整備されるまでの間は、近隣自治体及び民間業者での委託処理を行います。	2. 施策の課題 ・下水道事業の効率的な維持管理を図り適正な処理が行えるよう、今後はストックマネジメント計画により、老朽化した施設・設備の更新が中心的な事業となっていく。また、令和6年度から公営企業会計となり、受益者負担を原則とした料金体系の見直しと、汚水処理計画の見直しに伴う、合併浄化槽設備補助制度を推進する必要がある。 ・不法投棄の早期発見のため群馬県や警察等と連携を深め、土地所有者や不法投棄の恐れのある地域に注意喚起を促し監視する必要があります。土砂条例の認識不足で助言等により申請する場合もあり、周知徹底を図る必要があります。 ・犬及び猫の適正飼育推進のため広報啓発が必要です。特に猫の多頭飼いや飼育崩壊を早期発見するため、地域と行政が連携する必要があります。 ・町の可燃ごみ処理施設停止に伴い、広域処理ができるまでの間においても安定的な処理を継続する必要があります。ごみの減量化及び資源化促進のため、可燃ごみに多く入っている紙ごみの分別の啓発が必要です。また、令和4年4月施行「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により廃プラ収集の検討を強く求められています。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化します？ ・人口減少等社会情勢の変化を踏まえ効率的な汚水処理手法の選定に努めることが求められている。令和6年度から下水道事業の公営企業会計化に伴い、受益者負担を原則とした施設維持管理が求められている。また、能登半島地震で下水道施設の脆弱さが露呈し、管路の耐震化が求められている。 ・近年不適切な盛り土により災害が発生している状況を踏まえ、土砂条例の遵守が求められている。 ・犬、猫へのマイクロチップの装着義務化が令和4年施行され、その情報に基づいた市町村の対応が求められている。 ・令和4年4月からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、廃プラ収集の取組が求められている。	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・下水道処理施設の老朽化への対応や人口減少や未接続者の状況を踏まえ、今後の下水道維持管理の運営ができるのか心配する声がある。また、下水道処理区域の住民から使用料の値上げを懸念して接続したくないと言った意見がある。 ・国道、県道、町道に投棄されている廃棄物について生活環境や道路環境の汚染等、観光業が主要産業である町にとってはマイナスイメージとなっている。 ・近所に猫の多頭飼いをしている人がいて困っているなどの相談が増えている。 ・指定袋の値段が高すぎる。廃プラの収集を実施してほしい。

施策のための 目的・役割 分担 達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	・下水道や農業集落排水への接続、合併処理浄化槽の設置と適切な維持管理に努める。 ・地域の生活環境を悪化させないよう、不法投棄の防止や公害に対する意識を高め、良好な住環境づくりに努める。 ・犬・猫の適正な飼育管理に努める。 ・ごみの出し方のルールを守り、きちんと分別し、ごみの減量化・資源化に取り組む。	・下水道を健全に運営し、下水道施設の計画的な整備と維持管理、合併処理浄化槽の普及に努める。 ・不法投棄対策、公害防止対策など、地域の生活環境の維持に努める。 ・犬・猫の保護対策の実施主体である群馬県(動物愛護センター)と連携し、犬猫衛生対策を推進する。 ・ごみの減量や資源化、適正処理のための施策及び啓発を行う。

施策	11	生活環境の保全	主管課	名称	環境課
				課長	木樽 晴彦

施策の 成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	汚水処理人口普及率	%	実績値	79.0	80.0	80.6	80.7			
				目標値		83.2	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
	B	ごみの減量に向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	91.6	91.9	92.1	94.7			
				目標値		90.0	92.0	93.0	94.0	94.0	95.0
	C	ごみの資源化率(リサイクル率)	%	実績値	22.0	23.9	22.3	25.2			
				目標値		63.0	24.0	25.0	26.0	27.0	28.0
	D			実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	未達成	成果指標の増減の要因	A	現在下水道区域の見直しを検討中のため新規事業として下水道本管を新設していないため、目標には達していないが、枅引工事を実施したことにより微増した。
	B	達成		B	日頃からテレビ等のメディアを通じてマイバック推進など環境負荷抑制の放送が行われていることや、令和6年度より実施している容器包装プラスチックごみの分別収集について広報誌やHP等を通じて協力を呼びかけ、住民の分別の意識が浸透したと考えられる。
	C	達成		C	令和6年度より容器包装プラスチックごみの分別収集を実施し、昨年度まで燃やせるごみに入っていたプラスチックごみを資源化することができた。さらに、町民の分別意識が高まり、古紙類の資源化量も増加した。
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	生活排水の適正処理	A 補助制度を利用した合併処理浄化槽の累計設置基数(R5～R9年度の累計)	基	実績値	27	26	30	44			
					目標値		—	35	70	110	150	190
			B		実績値							
					目標値							
	2	良好な住環境の維持	A 悪質な不法投棄件数 ※悪質＝警察に届けるような事案	件	実績値	0	0	0	0			
					目標値		—	0	0	0	0	0
			B		実績値							
					目標値							
	3	ごみの減量化・資源化の推進	A 直接資源化できる量(古紙類＋廃プラ類)※R6年度からの分別収集を目標としている	t	実績値	416	399	350	542			
					目標値		—	430	500	510	510	520
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

基本事業の取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	現行の合併処理浄化槽の補助制度に加え、合併浄化槽への転換接続、下水道接続に対する排水設備に関する補助制度を創設した。(R7年度施行)	下水道区域外での新築による申請が少なかった。また、個人に負担がかかるため、環境対策というより、壊れたら転換する方が多く、申請が少なかったため、目標に達しなかった。	転換に関して、環境対策として理解が得られていない。	既存補助制度及び新たな排水設備補助金を周知し、活用を促進する。
	2	群馬県、警察等や住民との情報共有に努め、不法投棄現場の確認を行い、対処法を決めている。町有地等については早急に処理し不法投棄の場所として認識されないように対応している。	警察に届けが必要となるほどの悪質な不法投棄事案並びに相談はない。	不法投棄による苦情件数は昨年より減少しているが、引き続き不法投棄されにくい環境づくりが必要である。	群馬県、警察等や住民との連携や情報共有を図り、パトロールの強化を行い、土地所有者や不法投棄の恐れのある地域へ注意喚起を行うと共に注意看板や監視カメラの設置も視野に入れ検討する必要がある。
	3	令和6年度より容器包装プラスチックごみの分別収集を実施した。また、町内各地のふれあいいきいきサロンや行政区等でごみ分別収集の出前講座を実施し、住民の理解が深まった。	令和6年度より容器包装プラスチックごみの分別回収により資源化でき、燃やせるごみの減量に寄与した。また、町民の分別意識が高まったことにより新聞、雑誌等の古紙類の資源化量が増加した。	可燃ごみの中にはまだ多くの紙ごみが含まれており、分別意識のさらなる向上が必要と思われる。	紙ゴミの分別に関する広報活動を行い、資源化を進めるとともに、各家庭での分別意識向上を図り、全体のごみ減量化を目指す。
	4				

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		蜂駆除費補助事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		488,300 円	
施策体系	施策		11		生活環境の保全				スズメバチによる危害を防止し、町民の皆さんの安全な生活を守るため、スズメバチの営巣の駆除に要した費用の一部を補助しています。実施する駆除に対し、専門業者に依頼する場合に駆除に要した費用の2分の1以内で、1万円を上限として補助金を交付する。				蜂(スズメバチ)駆除費用補助事業については、季節的であり、住民の認知度が低いため広報等で啓発活動を進めてきた。スズメバチ等を駆除するための防護服の無料貸し出しを実施している。				事業実績		
	基本事業		02		良好な住環境の維持												補助金交付回数		
								②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							
組織名		環境 課		環境対策 係				補助金の対象が、ハチ目スズメバチ科スズメバチ亜科に属するスズメバチということがあまり知られていないため認知度が低い。スズメバチ等は、自然界の一部であり、その営みは毎年繰り返される。依頼し対応できる業者が少ない。				スズメバチの毒は人命に関わる危険性があり、年々対象者が増加しており、蜂(スズメバチ)駆除費用補助金を確保して対応しなければならない。引き続き、補助金制度について速やかに申請ができるよう広報等で周知していく。令和7年度より、申請窓口が環境課から総務課危機管理室へ変更。				令和 5年度	令和 6年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	4	項	1	目	5					32	52	回		

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		犬・猫等衛生対策事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		1,584,514 円				
施策 体系	施策	11		生活環境の保全					狂犬病を未然に防ぐため、年1回の予防接種が義務付けられている。町は利根沼田獣医師会と共に年1回集合注射を実施している。 捨て犬、捨て猫を増やさないための取り組みとして、犬猫の避妊手術費の助成を行っている。					毎年町内を巡回して狂犬病予防接種を実施しているが、予防注射実施率を上げるため、広報等による周知と動物病院での実施を促している。 猫の多頭飼育に関しては、動物愛護センターやボランティア団体と協力しながら対応している。					事業実績						
	基本事業	02		良好な住環境の維持																					
						②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					登録頭数									
組織名			環境 課		環境対策 係					町内の実施率が7割程度となり狂犬病予防注射実施率の低下が懸念されている。また、猫の多頭飼育等での相談が増加し、群馬県動物愛護センターとも情報共有をしてお対応しているが、当該者個々の事情もあり対応に苦慮している。					狂犬病予防注射実施の啓発を継続的に行う。また、猫の苦情や多頭飼育の相談は、飼い主のモラルに頼るところが多いので、広報等で地道に啓発し理解を深めていく。					令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業 期間		継続事業		会計	1	款	4	項	1											目	5	889		877	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		公害対策事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		59,129 円									
施策 体系	施策		11		生活環境の保全					県・町が協力し、公害対策に取り組んでいる。騒音・振動に関する問合せは町が、水質・大気・土壌に関する問合せは県が対応している。					野焼き等に関する相談には現場確認で対応している。また、生活環境での相談は原因者のモラルの問題もあるため、解決できない相談もある。					事業実績										
	基本事業		02		良好な住環境の維持															典型7公害 苦情件数										
	組織名		環境 課			環境対策 係					②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					令和 5年度		令和 6年度		単位					
事業 期間		継続事業			会計		1 款		4 項		1 目		5		野焼き等の焼却苦情の他に生活環境での騒音相談や臭気相談など近所トラブルに関わるものが多くなっている。					生活環境の相談は多岐にわたり、課内だけでは対応できない場合もあるため、関係各課と連携と図り対応する必要がある。					3		6		件	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		放射線量低減対策事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	0 円	
施策 体系	施策		11	生活環境の保全					空間放射線量の測定や個人消費の食品の放射能簡易測定を行う。	食品放射能管理検査は、検査依頼も大幅に減少しているため令和6年9月31日をもって終了した。 空間放射線量測定機器の更生については、群馬県での測定数値と比較して誤差を補正することで対応し、検査機器更生にかかる費用を削減した。					事業実績						
	基本事業		02	良好な住環境の維持																	
	②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策									・町内各地の放射線量測定件数 ・食品の放射能測定検査件数						
組織名		環境 課		環境対策 係 <td colspan="5" rowspan="2">空間放射線量の測定については、群馬県での調査を依頼があり調査を継続しているが、検査機器の維持管理費がかかる。</td> <td colspan="5" rowspan="2">群馬県での空間放射線量測定調査が継続する間については、測定を継続していく。</td>					空間放射線量の測定については、群馬県での調査を依頼があり調査を継続しているが、検査機器の維持管理費がかかる。					群馬県での空間放射線量測定調査が継続する間については、測定を継続していく。							
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項											1	目	5
												7・6	7・2	件							

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		水上火葬場管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		6,495,336 円							
施策 体系	施策		11		生活環境の保全				町が運営する水上火葬場の維持管理。火葬執行・日常の管理は業務委託している。				火葬並びに収骨に問題がないように修繕等を実施した。				事業実績								
	基本事業		02		良好な住環境の維持												火葬件数								
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																
組織名			環境		課		環境対策				係		水上火葬場は現状を維持し、できる限り利用していく方針となっている。火葬件数や設備対応年数に応じた維持管理並びに修繕をしなければならない。				令和 5年度		令和 6年度		単位				
事業期間		継続事業		会計		1		款		4		項					1		目		6		68		70

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000007		新治火葬場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	7,874,288 円						
施策体系	施策		11		生活環境の保全						町が運営する新治火葬場の維持管理。火葬執行・日常の管理は業務委託している。				火葬並びに収骨に問題がないように修繕等を実施した。				事業実績						
	基本事業		02		良好な住環境の維持														火葬件数						
	組織名				環境 課		環境対策 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策							令和 5年度			令和 6年度
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項	1	目	6	火葬並びに収骨に問題のないよう、必要な修繕を実施しなければならない。				新治火葬場は現状を維持し、できる限り利用していく方針となっている。火葬件数や設備対応年数に応じた維持管理並びに修繕をしなければならない。				122			108		件

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		利根沼田広域圏火葬場斎場費負担事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		6,073,000 円		
施策体系	施策		11		生活環境の保全						利根沼田広域市町村圏振興整備組合が運営する利根沼田広域斎場「ぬまた聖苑」の管理運営にかかる構成市町村負担金の支払い。利用者は主に旧月夜野町地内の住民。				利根沼田広域市町村圏振興整備組合が運営する沼田聖苑は、主に旧月夜野町が構成団体となっている。老朽化に伴う大規模修繕は終了しているので、今後の運営状況を見守る。				事業実績		火葬件数	
	基本事業		02		良好な住環境の維持																	
	②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																	
組織名			環境 課		環境対策 係						合併前の火葬を継続し、沼田聖苑、水上・新治火葬場の3施設での火葬を行っている。水上・新治火葬場は、できる限り利用していく方針となっているが、今後の施設運営や既存施設の老朽化を踏まえて将来的な見直しを検討する必要がある。											
火葬場の老朽化が進んでいる。																						
事業期間	継続事業			会計	1	款	4	項	1	目	6					令和 5年度		令和 6年度		単位		
											169				202		件					

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		町有墓地維持管理事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		786,445 円		
施策体系	施策	11	生活環境の保全						町有墓地は、274区画あり、使用者の募集及び永代使用料徴収事務、承継者の届け・氏名住所変更の手続き、共有部分の維持・補修を実施。共有部分（四阿、通路、周辺の草刈、町有墓地トイレ等）の清掃管理を委託（社会福祉協議会）管理している。また、墓地内にある無縁仏墓地管理を実施している。				毎年の管理料徴収時に使用者の確認並びに使用者が死亡した場合には、継承該当者への連絡を行い、使用者不在区画が増加しないように努力している。				事業実績					
	基本事業	02	良好な住環境の維持														墓地所有区画数・使用区画数					
組織名		環境 課		環境対策 係						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項	1	目	6	使用者不明・継承者不明の墓地があり、今後の管理に支障がある。				使用者の高齢化が進み管理できない墓地が増えている。使用者不在墓地をどう管理していくのか検討する。				令和 5年度	令和 6年度	単位
																274・257				274・255	区画	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		不法投棄対策事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	53,660 円						
施策体系	施策		11		生活環境の保全					不法投棄を行う者を現行犯で捕らえるのは難しく、多くの場合は捨てられた後の現場確認から作業を始め、県・町・警察と連携と取り調査を行う。					通報を受けて現地確認をした上で指導や対応をした。民地への不法投棄も増えており、土地所有者自身による草刈りなど、不法投棄をされにくい環境を維持するような周知・啓発を行った。					事業実績						
	基本事業		02		良好な住環境の維持															苦情件数						
	組織名		環境			課		環境対策					係		②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策						
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項	2	目	1	高齢化により耕作地が荒れ、不法投棄されやすい場所が増加している。土地所有者自ら草刈や監視をすることができない状況が多くなっている。					不法投棄の早期発見に努め、群馬県や警察等と連携、情報を共有するとともに、悪質なもので犯人の手がかりになる物が発見された場合には警察捜査び委ねる。					令和 5年度	令和 6年度	単位		
																						12	8	件		

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		生ごみ処理容器等購入補助事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		1,945,400 円			
施策体系	施策		11		生活環境の保全						電気式生ゴミ処理機・コンポスター・水切りバケツの購入に対し助成をし、家庭から出る生ゴミの自己処理と堆肥としての再利用を促し、ごみの減量化・資源化を図る。						民間事業者による新聞折込等により、電動式処理機の補助件数が増加した。生ごみ袋の有料化がR5年6月からスタートしたことの影響も考えられる。						事業実績				
	基本事業		03		ごみの減量化・資源化の推進 <td colspan="4">電気式生ゴミ処理機購入補助台数</td>																		電気式生ゴミ処理機購入補助台数				
組織名				環境 課		環境対策 係						②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項	2	目	1	H29年3月に補助金の額を5分の4に引き上げ、R2年4月より電気式以外の容器は同一年度3基を上限とするなど要綱の改正を行い、ごみの減量化、資源化を図るために補助事業利用者を増やしたい。						事業を継続し生ごみの減量化と堆肥化を進めたい。						令和 5年度	令和 6年度	単位	
																								32	47	台	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000009		ごみ処理広域化推進事業										① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	15,188,000 円								
施策体系	施策		11		生活環境の保全										群馬県一般廃棄物処理マスタープランに基づき、利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域化協議会において、ごみ処理等の一本化を推進する。		広域化施設整備協議会を円滑に運営するために、専門部会・幹事会・理事会を設置し、それぞれ広域化に向けた協議を行った。その中で建設候補地を沼田市白岩町にある沼田市外二箇村清掃施設組合清掃工場用地とした。		事業実績								
	基本事業		03		ごみの減量化・資源化の推進														構成団体数								
組織名		環境		課		廃棄物処理係										②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策									
事業期間		期間限定事業		会計		1		款		4		項		2		目		1		令和 5年度		令和 6年度		単位			
																		・広域化のための施設整備に係る建設候補地の選定 ・ごみ処理の一本化に向けた調整等		・処理方法、施設規模の協議 ・搬入道路や施設建設位置の協議 ・建設面積及び概算建設費の算出		5		5		団体	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000018		合併処理浄化槽普及推進事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		8,455,920 円						
施策体系	施策		11		生活環境の保全							公共下水道事業及び農業集落排水事業の供用開始、認可区域以外で合併処理浄化槽を設置する住民に対して補助金を交付する。補助金額は、入槽により加算額を交付している。また、下水道への接続及び既設単独浄化槽の転換を促すため、令和7年度よりエコ補助金を廃止し、下水道、浄化槽ともに使える宅内排水設備補助金(上限100,000円)を開始。				新たに国と県にあわせて排水設備設置の補助金を追加した。				事業実績							
	基本事業		01		生活排水の適正処理															合併処理浄化槽の設置基数							
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策														
組織名			上下水道 課			経営 係								件数はその年度によりバラツキがあるが全体的には増加傾向にある。また、補助金額を上げる要望もある 単独浄化槽及び汲み取りの切り替え件数が減少し、新規設置が増加することで国の補助率が下がる恐れがある。				高齢者の切り替えはきっかけがなければ見込めない。 一定の予算を確保しつつ長い目で実行していく。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間			継続事業			会計		1		款		4										項		2		目	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000014			久保汚水処理施設維持管理事業							① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	10,082,490 円		
施策体系	施策		11		生活環境の保全							藤原の久保地区の汚水を処理しているコミュニティプラント。現在の接続数44件。昭和50年代の宝台樹スキー場建設時に地元との協議で設置された施設。元々は群馬県が管理していたが町に移管。					令和8年度にカメラ調査を検討している。その際に枝管の調査も予定。					事業実績			
	基本事業		01		生活排水の適正処理																	収益(収入－支出)			
	組織名		上下水道 課				経営 係							②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策					令和 5年度	令和 6年度
事業期間	継続事業			会計	1	款	4	項	2	目	1	施設も老朽化しており更新が必要な時。台帳が本管路がなく枝管の資料がない状態。今後の方針も含めて議論が必要。					調査を行い状況把握が必要。					-1,600	-6,271	千円	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		燃やせるごみ処理事業					① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		264,280,383 円									
施策体系	施策		11		生活環境の保全					町内で排出され、収集及び直接搬入された家庭系・事業系の可燃ごみを近隣自治体の処理施設、民間事業者の処理施設において委託処理する。					紙ごみや廃プラ分別によるごみ減量化、資源化について広報等による啓発を実施した。					事業実績										
	基本事業		03		ごみの減量化・資源化の推進															外部委託した可燃ごみ量										
										②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策															
組織名			環境			課		廃棄物処理					係		ごみの減量が経費削減となるので、可燃ごみに含まれる紙ごみの分別、廃プラ収集による減量化を進める必要がある。					利根沼田地区広域処理に向けた、可燃ごみの減量化、可燃ごみに含まれる紙ごみ、廃プラの資源化の取り組み。					令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1		款		4		項		2											目		3		3924	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000007		資源ごみ等リサイクル事業										① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		51,503,231 円		
施策体系	施策	11		生活環境の保全						生活系及び事業系一般廃棄物(粗大・不燃・資源ごみ)から資源物を効率的に回収し、ごみの減量化を図るためのリサイクル施設の適正運転及びごみ破砕後に出る残渣物の適正な処理をする。						精密機能検査の結果を踏まえ、モーター及びシーケンサーの改修工事を実施。				事業実績						
	基本事業	03		ごみの減量化・資源化の推進																搬入量(ペットボトル含む)						
											②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策									
	組織名				環境		課		廃棄物処理係												令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	4	項	2	目	3	老朽化した設備の改修工事を計画的に行い、適正な施設運転をしていく必要がある。						利根沼田地区広域処理の進捗を見極めながら、老朽化した設備の改修を行う。				870		956		t	

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000008		し尿・浄化槽汚泥処理事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		93,925,473 円							
施策体系	施策		11		生活環境の保全					町民の家庭で使用している浄化槽の清掃水及び汲み取りし尿を奥利根アメニティパークのし尿処理施設にて適切な処理をする運転保守管理業務				処理経費削減のため、令和6年10月1日よりし尿等の処理を沼田市外二箇村清掃施設組合に委託した。				事業実績								
	基本事業		03		ごみの減量化・資源化の推進													搬入量(し尿) ・搬入量(浄化槽汚泥)								
										②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
組織名			環境			課		廃棄物処理			係		施設稼働から20年以上経過しているので設備機器が老朽化し、これらの延命化修繕・更新工事に経費がかかってくる、放流水の法定排出基準を遵守しなくてはならない				利根沼田地区のごみ広域処理の協議が進む中で、し尿処理の広域処理を見据えた検討が必要。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間		継続事業		会計	1	款	4	項	2	目	3	536・5011									567・5083		kl			

令和 7 年 6 月 20 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000020		下水道事業会計繰出事業(下水道)					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		668,192,165 円				
施策体系	施策	11		生活環境の保全					一般会計からの繰出事務 ・基準内繰入(一般会計が支出するべきもの) 起償償還等に係る負担金 繰出基準による負担金 ・基準外繰入 維持管理等に伴う補助金 建設改良等に伴う補助金 ・出資金 建設改良等に伴う出資金				課題が整理される中で経営戦略の改定に取り組んでいる。 長い期間で経営状況の課題解決に取り組む必要がある。				事業実績						
	基本事業	01		生活排水の適正処理													負担金・出資金・補助金受入業務						
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策										
組織名		上下水道 課			経営 係					企業会計がスタートして下水道事業の課題を整理				下水道使用料の改定に向けた審議会を令和7年度に開催予定。				令和 5年度		令和 6年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	4	目									3	471,056		668,192		千円